

新潟六七会40周年記念クラス会

平成30年10月6日（土）新潟歯学部第67回卒業（六七会）40周年の同級会が、新潟グランドホテルにて開催されました。

台風の影響で10月には珍しい気温30度以上というなか約50名の方々が集まり、17時より宇野清博君の司会により総会が始まりました。物故者への黙祷後、会計報告、次期開催地などの協議が行われました。次回は3年後東北、盛岡にて村田昌明君が代表幹事で開催することが決まりました。

その後、ご来賓の先生方とともに全員での写真撮影を行い、小林茂磨君の司会により祝賀会の開宴となりました。祝賀会ではまず校歌斉唱を行い、今回の幹事を代表して風間 武 君からの挨拶があり、続いて中原 泉 理事長・学長・校友会会頭、近藤勝洪校友会本部会長からご挨拶をいただきました。中原学長からは「新潟での1期生なので67回生には特別の思いがある」との嬉しいお言葉をいただき、参加者一同感激いたしました。

そして、宮本重雄新潟県校友会専務理事による乾杯のご発声で歓談が始まりました。

歓談中には来賓としてご列席いただいた、学生時代にお世話になった 畑 好昭先生、加藤喜郎先生から40年以上前の思い出話を交えたご挨拶をいただきました。我々は学生時代ずいぶん年齢差のある学年でしたが、今となっては、みなグレーゾーン



中原理事長（左）と近藤会長（右）

にまとまり、和気あいあいと食事とお酒を楽しみながらの近況報告となりました。ある人は今でも頑張っている野球クラブの話、ある人はVocalに目覚めその練習が楽しみ、また死ぬまで働くという人もいれば、そろそろ引退だといった話で盛り上がりました。

瞬く間に時が過ぎ、トリは本日の同期最年長の大澤 博さん、学生時代からまったく変わらぬスタンスで「私は生涯現役です」という言葉で閉会となりました。

引き続き、懐かしの古町へと移動し、近藤会長も参加してくださり、ほとんど全員が参加して「イタリア軒イタリア倶楽部」での二次会となりました。その後も新潟のお寿司を食べたいという会員の声で三次会、そして四次会へと気持ちは学生時代のまま、夜は更けていきました。

65歳という境に今年は人生のターニングポイントかもしれません。盛岡でのクラス会までに皆さんがどのように変わり、生きていくのかとても楽しみです。

今回、参加した方々、そして特に幹事の皆様ご苦勞様でした。

（神山博光 記）

